

Niigata University  
Campus Magazine

新大広報

# campus forum

NO.142  
11月号

新潟大学広報誌

## 総合大学の魅力 —すべてが教材— フィールド・生活

健康コラム

「貧血の話」

学内遊学

こちら就職部

キャンパスあれこれ

考古遺物・遺跡・堆積層等のルミネッセンス年代測定  
第50回関東甲信越大学体育大会成績結果



新潟大学六花寮（男子寮）  
〒951-8134 新潟市関屋2番地18  
（新潟大学五十嵐キャンパスから約8km、旭町キャンパスから約3km）

六花会のお二人にご協力をいただきました。ありがとうございました。（編集部）

ふじのしんさく  
藤野臻策さん（元新潟県立がんセンター副院長）

旧制新潟高校に昭和14年入学。

みかたしげとし  
味方重敏さん（元BSN新潟放送テレビ局長）

旧制新潟高校に昭和23年入学。旧制最後の入学生で、  
新学制のもと新潟大学の最初の六花寮生でもある。

昭和14（1939）年 第二次世界大戦勃発

昭和23（1948）年 東京裁判 / 「暮らしの手帖」創刊

## 特集1 六花寮座談会

特集  
総合大学の魅力  
すべてが教材  
フィールド・生活

# 六花寮は、 もう一つの学びの場

皆さん、六花寮といえば、何を連想されますか？キャンパスから遠い不便な学生寮でしょうか。寮歌を歌う独特な集団でしょうか。えー、名前からして歴史があると思いませんか。旧制新潟高校ができた大正からの伝統（？）が確かにここにはまだ生きているのでした。旧制新潟高校時代の六花寮生である藤野さん、味方さんという大先輩にもご参加いただき、現学生とともに六花寮の今昔についてゆったりと話をしていきますと、意外にももうひとつの学びの場が見えてきました。共同生活を通して、学生がルールを自生し、議論し、仲間との関係の中で大人の基礎をつくっていく、そんな場が……。

新潟大学の開学式が開かれたのは、昭和二十四年七月十八日（正式な開学は、六月一日）。新潟医科大、旧制新潟高校、長岡工業専門学校などを統合して発足しました。

現在の六花寮は、旧制新潟高校時代の寮名を受け継いでいます。場所は、新潟市西大畑から関屋に移っています。また、旧制新潟高校の卒業生たちは、六花会という同窓会を組織していて、月1回の例会と、年に1回の全国大会を開催しています。これは、新潟大学六花寮とは関係なく独自に動いている同窓会です。接点がありそうで、なさそう。

しかし、座談会の中で、新歓行事、ストーム（ ）寮祭などの話が出てくると、やはり、つながりがあるんだなあと感じさせてくれました。とどめは半世紀以上も年が違うのに、一緒に寮歌を歌えるという事実でした。歌は、素晴らしいなあ。歌が二つの六花をつなげてくれた日でありました。

ストーム【storm】

（嵐の意）学校の寄宿舎などで、夜、大勢が歌を高唱したりして騒々しく練り歩くこと。[広辞苑 第四版]

## 六花寮の歴史は、 歌でつながっていた



## 新潟には新しい自由があった あんまり自由なのでびっくりした

藤野臻策さんは、当時をふりかえり「新潟は自由だったねえ。あんまり自由なのでびっくりした。私は、上越、高田藩のところから新潟に来たでしょ。高田では映画見るのも禁止



藤野臻策さん

寮歌と一緒に歌う新・旧六花寮生  
（六花寮食堂）



六花会の出版物(これが、立派で多い)を見ながら  
当時からふりかえる藤野さんと味方さん。



清和寮を写真で紹介している「写真集・あくがれてこし丘  
の上や」(新潟高等学校六花会)。他にも、藤野さん、味方  
さんたちの青春のメモリアルが記録されている写真集。



教育人間科学部2年神田大嗣さん

されていたけれども、新潟に来たら、酒を飲み  
に古町、堀の屋台へ、中には半玉などの女となじみを...  
...、稀ですけどね。」とおっしゃいます。

ただ、表面的な自由だけではないらしい。

「八田三喜校長(旧制新潟高校初代)というお方は、  
24歳で校長になった方で、1.自由 1.進取 1.信愛



味方重敏さん

という基本を説いた方  
でねえ。学校も自由だ  
った。」

味方さんも自由につ  
いて続ける。「いやー  
ね、授業中に寝ていた  
って、自由に寝てくだ  
さいってぐらいなんだ  
から。昼間から銭湯へ

行くものもいましたよ。喫茶へも行きました。けど、  
夜は勉強したなあ。東寮、西寮、.....私がいた部屋か  
ら外を見るとまだ明かりがついている部屋があるん  
です。そうすると、もう少しがんばろうかと。また、こ  
れは全国でも稀にみる施設だと思いますが、清和寮と  
いう寮生のための癒しの場所があったんです。一戸建  
てで純日本風住宅、電蓄が置いてある部屋があったり、  
庭は木花でいっぱいでした。ここの寮母さんが、とて  
も献身的な方で、自分のことよりも学生のことをいつ  
も優先してくださった  
んです。」

寮母さんは、北条み  
ちのさん。藤野さんは、  
清和寮の記憶をつづ  
った『思い出の清和寮』  
で寮母さんの思い出に  
ついて語っています。



人文学部2年佐藤翔悟さん(副寮長)

献身的な女性、学生を思うあまり、自分自身がピンチ  
になる話などを披露していらっしゃいました。寮母さ  
んを20年続け、ガンにむしばまれてしまう。一年後、  
この世を去ってしまうのですが、寮生たちは身よりの  
ない寮母さんに、お墓をつくりました。

自由の中にある主体的な動きに、現在の大学のあり  
方を考えさせられてしまいました。

## 自治の本質は、 共同生活・集団生活にあり

「旧制高校を復活させようという人の意見をよくよ  
く聞いてみると、寮生活を復活させようということら  
しいですね。旧制高校時代は、多感な頃でしょ。そん  
な頃に、共同生活をしながら議論しあうわけですよ。  
これは、貴重な体験です。」

「ボーイスカウト、ガールスカウトなどの教育の考  
え方とも似ていますよね。生活そのものが教育なんだ  
と。教育の普遍性かもしれません。(編集部)」

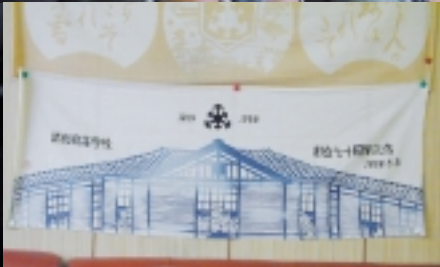
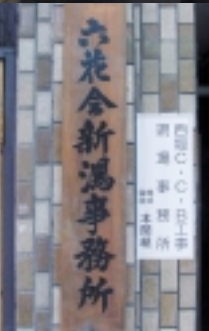
「そうですね。まあ、奇人・変人もいましたが、み  
んな不屈さを持っていましたよ。そして、何より世の  
中には、『いろんな人がいるんだなあ』ということ  
を体で学んでしまう。ほんと、いろんな人がいるのが  
社会ですから。」

現副寮長の佐藤翔悟さん、そして寮祭実行委員長の  
神田大嗣さん。大先輩の話に目を輝かせておりました。  
特に、神田さんは追い求めていた『ルーツ』を得て、  
さらに興味が沸き上がってくるようでした。

(編集部)



新潟市古町九番町  
六花会事務局



北方文化博物館新潟分館

# 六花寮の まちを歩く

## 西大畑界隈の記憶

特集  
総合大学の魅力  
すべてが教材  
フィールド・生活

六花寮座談会（前頁参照）を終え、日を改めて参加してくれた学生と一緒にかつての六花寮生が愛したまちを歩くことにしました。2001年9月21日、あいにくの小雨。六花寮副寮長、佐藤翔悟さん・六花寮祭実行委員長、神田大嗣さん・編集部1名の参加。（六花会事務局訪問は、当日撮影。他は、後日撮影した）

現六花寮の寮祭実行委員長、神田大嗣さんは、六花寮の大先輩から旧制高校時代の話を聞いて、まちから愛されていた六花寮生を知りました。神田さんは、座談会の前、六花寮祭の案内を持って、六花寮の前に広がる関屋金衛町の住宅街を歩いたことがありました。予想していた以上に関心が薄いことを知ってしまい、少々ショック。そんなことがあったので

なおさらに六花寮大先輩のお話に聞き入ったのであります。

そんなことがあって、まちを歩きました。イタリア軒で待ち合わせ、かつての六花寮生が愛した西堀を眺めますが、そこには柳があるだけで『堀』はありません。すぐに足を向けたのは古町9番町にある六花会の事務局でした。

突然の訪問にも関わらず、事務局の小

林美智子さんは快く迎えてくださり、寮歌集、写真集、六花寮史、絵はがきなどを見せてくださり、さらに、寮歌が録音されたテープを一緒に聴きながら、六花寮のルーツに浸ってきました。

堀割再生プロジェクトの写真展でかつての堀があった新潟の写真鑑賞し、西大畑界隈を車で周り、六花寮前の関屋金衛町も周りました。



新潟カトリック教会



行形亭周辺  
地獄極楽小路

どっぺり坂

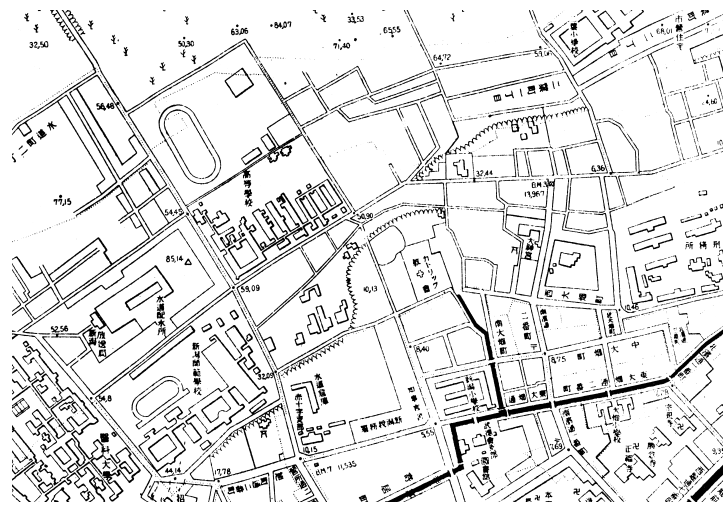


副寮長の佐藤さん、そして神田さんは何を感じたのでしょうか？まちから愛されるには、まちを愛す学生がその前にあるような気がしてなりません。

かつての六花寮界隈を写真でご紹介します。あなたも、ぜひ歩いてみて下さい。

(編集部)

昭和9年新潟市図  
「写真集・あくがれてこし丘の上や」六花会より



20世紀型「効率的な生産システムの追求」は、終わった。  
新しい生物圏の総合科学「フィールド科学」が  
ここで始まっている。



左：本間航介講師  
右：松崎健教授

## 環境教育の基地、文化人類学研究的基地…… ボーダレスな領域、渾然となったものが、環境科学



新潟大学農学部  
フィールド科学教育研究センター  
佐渡ステーション

1951（昭和26）年に農学部附属演習林として三川村に設置された。1955（昭和30）年に新潟県から現在の演習林（相川町）を無償譲渡。研究宿泊施設は、小学校の跡地。両津港からは車で約2時間のところ。



佐渡、相川町の小田に佐渡ステーションがあります。迎えてくださったのは、松崎 健教授と本間航介講師。演習林周辺のお話を伺いました。

尾根づたいに続く約500haの小ぶりだけれど魅力にあふれている森林だと、本間航介さんはおっしゃいます。その象徴は、スギの天然林群落。

「特殊な気候で、常に霧が発生しやすい地点にスギ林の群落があります。そういう場所を雲霧帯と呼んでいて、直径2m、600年の樹齢を持つスギが存在します。佐渡の人も知らない島全体で最も高い自然度を備えた森林なんです。」

さらなる研究体制を組んでいく必要があると、グローバルスタンダード化され始めている研究体制LTER( Long-Term Ecological Research ) に着手しているとのこと。

この場が許さない。  
学びが一つひとつ切り離されているなんて、  
文系の人こそ、足を運んでみよう。

教育利用のお話をお聞きすると、森林に関する基本的なことを体で覚えるのだそうです。『森林環境科学実習』『演習林実習』……とその名前だけでは予想もつきませんが、鉦を研ぐことからはじめ、森との関わり方を学ぶ実学。環境に対するイメージが変わり、今では参加学生の男女の比率は半々とのことでした。

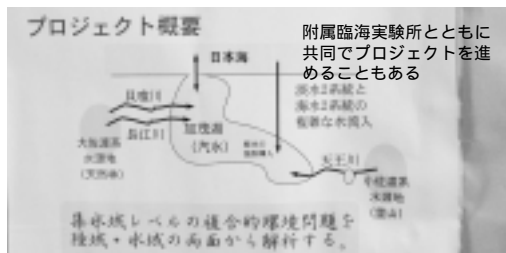
「そして、地元の環境問題を研究する受け皿にもなってきました。トキを野性に戻すことを検討するプロジェクトが動いていますが、そのコンサルティングも一部担っています。さらに、地元の方が土地を提供してくださり、里山を活かす方法を考えるプロジェクトも進んでいます。私も環境問題で一番に打つ手は、半自然の里山をどう活かすかだと思っていますから。また、環境NPOの実習受け入れも行っています。JUON

# 単なる森林学習の場以上のポテンシャルが 佐渡ステーションにはある。

## NPOからの寄稿

ステーションと  
NPOの関係

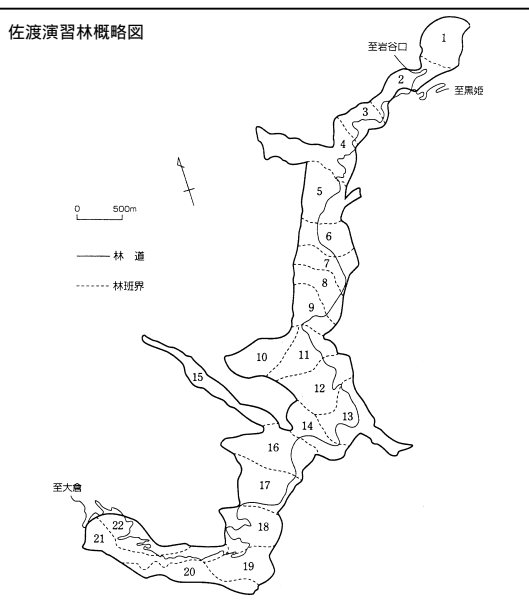
フィールド科学教育研究センター 佐渡ステーション



附属臨海実験所とともに  
共同でプロジェクトを進  
めることもある



演習林の川を研究する  
学生がいた



佐渡演習林概略図

## 森と人の循環

開かれた大学施設  
NPOの森林実習地として  
評判で理想的な情報循環が  
始まっている

所属するNPOの森林実習(佐渡:森林の楽校)も3回目を迎え、実習地:佐渡ステーションの評判はウナギ上りである。既にリビ-タ-も出来、参加者数は首都圏や先行地での実績を上回った。最近まで多くの島民が、その存在さえ知らなかった杉の原生林は、島の財産としても認知されつつある。

ステ-ション教官・職員が一丸となった「市民・島民に開かれた大学施設」への情熱が、実習参加者の心を掴み、それがネットや口コミで着実に広がるという理想的な情報循環が始まっている。これは『市民が集う大学-大学がサポ-トする地域社会』の先取りの動きとしてマスコミも注目している。最近、新聞やテレビ・ミニコミ誌などで、度々佐渡ステ-ションが紹介されるのもそのためであろう。

この流れをこれからも大切に  
して行きたい。

JUON NETWORK会員  
光井 高明(佐渡在住)

NETWORK、樹木・環境ネットワークなどが利用してくれています。住民、NPOとのつながりが増えてきました。」

「学生にも変化が見られます。『私、環境教育の業務に関わりたい。だから、ここで基本を学ぶ。』という学生もいるんです。ここはとってポテンシャルが高いフィールドですから、興味のある方はどんどん来て欲しいですね。文系の人たちにも来て欲しい。特に教育人間科学部の人、教授陣にも来て欲しい。経済系、人類学系、佐渡は研究フィールドとして魅力があるんですから。学際を超えて、渾然としたものが環境科学だと思えます。」

「そのためにも、大学の重点施設として育てていきたいですね。問題は、キャパシティなんです。学びの受け入れを行う教官のキャパシティ。山の管理を行う技官のキャパシティ。そして空間・スペースを確保する施設のキャパシティ。これからも続く問題です。」 (編集部)

フィールド科学教育研究センター  
佐渡ステーション(元佐渡演習林)  
研究以外に何もすることのできない  
この環境こそが、たまらない魅力

農学部 生産環境科学科 4年  
金子 洋平

自然に囲まれ、四季ではなく日々の変化にふれ、研究以外に何もすることのできないこの環境は、ほとんどの学生には敬遠されがちなのが現状である。しかし、物好きには喜び以外の何物でもなく、魅力的なのだ。また、演習林の本当の魅力とは地域の人々との交流であり、他大学の広範囲にわたる専門家の人達との出会いにこそ痛感され、何事にも代えることのできない体験なのではないだろうか。



### 特定非営利活動法人

JUON NETWORK

<http://www.univcoop.or.jp/juon/>  
都市と農山村をネットワークで結び、環境・地方文化・過疎過密の問題解決にのぞむ。事務局は、東京都杉並区。新潟大学、生田孝至教授が理事として参加。大学生協の支援を受け、1998年4月に誕生、1999年11月、NPO法人認証。

### 森林の楽校(もりのがっこう)

JUON NETWORKが主催する森づくり体験プログラム。今年は、新潟県他に、埼玉県、徳島県、兵庫県、群馬県、富山県で開催された。

学び、研究にはチームワーク養成も大切だ。  
ここにくると、ゼミが活性化する。



野崎真澄教授

美しい海を前に、寝食を共にする。  
あなたのゼミは、一挙にまとまり、研究の成果が上がりますよ。



新潟大学理学部  
附属臨海実験所

1953(昭和28)年、新制大学初の認可。翌年、旧金泉村より土地と建物の寄付を受けて発足。現在の建物は、1985(昭和60)年に全面改修。学部教育、学内公開臨海実習、他大学向け、大学院教育、社会教育活動を行う。



日本海、佐渡島。相川海中公園が、理学部附属臨海実験所の前に広がります。

海外府の入り口を飾る絶壁が続くところで、尖閣湾の遊覧船乗り場がすぐその場所にあるのです。

取材班を迎えてくださったのは、ここの所長を兼ねていらっしゃる野崎真澄教授と東藤孝助手のお二人。この魅力についてお話を伺い、船にも乗らせていただきました。

「夏の臨海実習がメインです。きれいな海を見たいんですね。沖縄もきれいだけれど、透明度では佐渡が上です。30mくらいあります。太平洋側は、1mがいいところでしょう。定点観測もしていますが、透明度は上がってきているんですよ。また、この海は汚染されていないことが、イボニシによる汚染度の調査などでわかっています。イボニシの調査は、体験もやっていますよ。」



海水を濾してプランクトンを食べ、そのため海水中の毒を蓄積してしまうフジツボなどの貝。それらを食べるイボニシは、体内に毒を濃縮するためこむ。人工化学物質

(環境ホルモン)によって汚染された海は、イボニシの雌にペニスを与えることから、環境ホルモン汚染のモニタリング動物として注目されている。現在、環境ホルモン汚染を免れている地域は、日本全国に佐渡島など数カ所しかない。

海は、いのちの源。多様性も、陸上とは比べものになりません。尖閣湾をグラスボートで海中の世界を見ている観光客も、その神秘的な世界に畏敬の念を持つでしょう。

附属臨海実験所では、学外にも門戸を開き、親子ファミリーサマー教室、中高生・理科教師向けの実習を行っています。『海』を現場にして学ぶ喜びが広がり、年間2,000名を越える利用者がいます。また、全学部生を対象にした公開臨海実習も行っているため、ぜひ参加を検討してほしいも



# 海は、いのちの源。 多様性は、陸上と比べものにならない。



ここ、達者から約2kmの海岸は、海底爆発で隆起した岩からなる岩礁海岸。土砂の濁りが無いことから透明度はとて高いのだそうだ。絶景。

のです。ただし、毎年募集人数よりも応募が多いのでご注意を。

## 実習は大変だけど、楽しいね。

「宿泊合宿ですから、寝食を共にするわけです。一挙にまとまりますよ。」と、野

崎教授は笑顔で語ります。研究は、『比較内分泌』。研究の喜びと、実習の喜びは違いますかとたずねると、すかさず「実習は、大変だけれども楽しいね。ほんと。」とまた満面の笑顔付きの応えが返ってきました。  
(編集部)

### 「島と侮るなかれ、 佐渡の器も大きいぞ」

大学院自然科学研究科 博士後期課程 3年  
大湊 国弘

波高6mで完全な孤島となり得る佐渡島の臨海実験所に、五十嵐キャンパスとの断絶感があるのは否定しない。しかし、佐渡は居良いか住み良いかと訊かれれば、答えは「良い」である。理由は『論語』の「学而第一」の最初の一文を実感出来るからか。特に「有朋自遠方來、亦不樂乎」のように、仕事で赴任してきた高校や学部時代の友人知人、あるいは地元の方との語りいは、地理的に刺激の少ない研究生活にメリハリを与えてくれる。



### 快適な佐渡モバイル生活の弱点は、 メインキャンパスの掲示板！

大学院自然科学研究科 博士前期課程 2年  
大島 康夫

佐渡に移り住んでから今年で三年目。豊かな自然の中、メインキャンパスでは味わえない生活を送っています。インターネットやモバイルの普及により、一般的な情報や友人との連絡に不便は感じませんが、奨学金など大学生活に関する重要な情報がメインキャンパス内の掲示板を通してのみ行われているため、連絡が来ず苦労しています。このような点を改善していただければ、外部での研究活動をより安心して行っていけると思います。



当たり前だが、夏に臨海実習は集中する。岩礁海岸の魅力を大いに活かしたシュノーケルを使った実習などが人気。



宿泊は、臨海実験所内。おきまりの二段ベッドだが、意外にも新しくきれいだった。

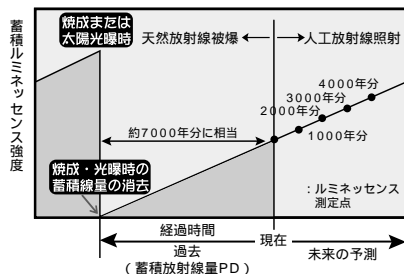


フカウラヒドラ  
未同定のイソギンチャクとして永年保管されていたもの(生時の色彩はない)が、世界で最初のフカウラヒドラの記録であることがわかった。  
外見がイソギンチャク類に類似する単体のヒドロポリプ。高さ約20mm。

## 物質が刺激を受けて光を発する現象 - ルミネッセンス -

旧石器遺跡捏造事件が発覚して以来、考古遺物の学術調査は自然科学的手法を含めたより客観的な方向への模索が始まっています。この一番有力なものとして、私共が20年余り関わってきたルミネッセンス現象を位置づけることができると考えております。

考古遺物・遺跡に含まれる石英や長石粒子には、自然放射線が常に照射されており、その極一部のエネルギーは準安定状態として蓄積されます。この準安定状態を加熱や光照射で刺激した際に放出される光がルミネッセンスです。前者を熱ルミネッセンス(TL)後者を光励起ルミネッセンス(OSL)と呼んでいます。その光(ルミネッセンス)の強さを測定できれば、発掘場所での自然放射線の強さとの関係から年代に関する情報が得られるのです。概念図を示しました。



図：ルミネッセンスの消去（ゼロセッティング）と成長の概念図

## 熱の刺激で、赤色の光を発する現象が存在するのを世界で最初に発見した。

焼成遺物・遺跡では、500以上の焼成の際に前歴としてのルミネッセンス情報が完全に消去されますので、鉱物粒子の加熱に伴うルミネッセンスを測定すれば、焼成以降の年代が求まるのです。私共の研究室は石英粒子から既に知られていた青色TL(BTL)以外に、赤色TL(RTL)現象が存在することを世界で最初に新潟海岸砂から発見し、焼成遺物や火山活動由来の試料では、RTL測定が必須であることを見出しました。

考古遺物・遺跡・堆積層等のルミネッセンス年代測定  
 日常ではわからない光を追い求めていくと  
 胡散臭い考古学の事件を一蹴してくれ  
 ロマンに近づく研究が新潟大学発で世界へと走  
 た

「石器ねつ造見破れます」と報道されました

理学部教授  
 橋本 哲夫

## 石英は、土の中に埋まってしまうと光を発する力を蓄積。

また、太陽光に曝された石英や長石粒子がルミネッセンス情報を一旦消去し、太陽光から堆積作用で遮断されたあと、再び蓄積することが十数年前に見出されました。この蓄積ルミネッセンスは、青や赤外光の発光ダイオードを用いて刺激することにより、紫や可視光領域でOSLとして観測できます。使用時には太陽光曝や焼成作用に関わった石器や遺物・遺跡や堆積層を暗所で発掘し、抽出した鉱物粒子にOSL法を適用すれば、目的物の年代が評価できるので注目されております。

## 熱と光。二つの刺激で、物質が光を発する。これらを自動測定するシステムを開発。グラスゴーの学会で大反響。

平成12年に私共の研究室は、これらRTLを含むTLとOSL自動測定システムを、小型X線発生装置を組み合わせることで開発できました。本年9月ルミネッセンス年代測定法の発祥の地である英国のグラスゴーで開催された学会でこの装置を発表したところ、大変な反響と賛辞が寄せられました。

この自動ルミネッセンス測定システムを(財)科学技術振興事業団から特許申請するとともに、同事業団「独創的研究成果育成事業」へ南蒲原郡栄町の(株)コイデエンジニアリングとの産学協同プロジェクト「照射装置付き放射線ルミネッセンスの高感度・自動測定システム」に採用され(約3千万円)本格的な商品化に取り組むことになりました。



NST「アンビリーバボー」でTV放映(2000年7月17日)  
 新潟日報 ユニゾンプラザでの講演会を「石器ねつ造見破れます」の見出しで報道(2000年11月24日)  
<http://www.niigata-nippo.co.jp/bak/00/bak1124.html>  
 新潟日報 一面カラーページで研究内容が紹介される「にいがた21世紀-明日へのテクノロジー-」歴史を読みとる化学の光(2001年1月17日)  
 日刊工業新聞 「芽をはぐくむ研究室」「石器類の年代測定」(2001年2月22日)  
 TVニュース放映(BSN、NST)「考古遺物年代測定用新ルミネッセンス測定装置を新潟大学で開発」(2001年7月25日)(NT21 8/29)  
 産学連携の独創的研究プロジェクト採用の報道(新潟日報、日刊工業新聞、日本経済新聞)(2001年7月26日)

# 第50回関東甲信越大学体育大会 成績結果

第50回関東甲信越大学体育大会は、本学が主管校となり、長岡技術科学大学、信州大学との3大学の当番により、去る8月27日(月)から31日(金)まで〔信州大学担当による種目は、8月17日(金)から20日(月)及び9月1日(土)・2日(日)〕の日程で12大学から5,200名の学生、教職員の参加により開催された。

本学の優勝した種目は、

- 卓球男子 2年連続・通算10回目の優勝
- 卓球女子 5年連続・通算7回目の優勝
- 硬式野球 20年振り・通算2回目の優勝
- 水泳男子 3年振り・通算12回目の優勝
- ラグビー 3年連続・通算22回目の優勝
- バレーボール女子 38年振り・通算6回目の優勝

の合計6種目でした。(昨年は、3種目優勝)

合計6種目の優勝は、昭和28年・平成2年の7種目に次ぎ、昭和33年・昭和34年の6種目に並ぶ好成績でした。

なお、種目別団体戦成績は以下のとおりである。



第50回関東甲信越大学体育大会種目別団体戦成績一覧	当番大学	競技種目		成績				
				優勝	準優勝	第3位		
				新潟大学・主管	A	陸上競技		男女
		ソフトテニス	男女	群馬大学 宇都宮大学	宇都宮大学 群馬大学	茨城大学 新潟大学		
		バスケットボール	男女	筑波大学 筑波大学	横浜国立大学 信州大学	筑波大学 筑波大学		
		剣道	男女	茨城大学 筑波大学	埼玉大学 茨城大学	千葉大学 信州大学	4年連続優勝 4年連続優勝	
		卓球	男女	新潟大学 新潟大学	筑波大学 横浜国立大学	横浜国立大学 信州大学	2年連続優勝 5年連続優勝	
		硬式野球		新潟大学	宇都宮大学	横浜市立大学		
		サッカー		筑波大学	千葉大学	群馬大学	5年連続優勝	
	長岡技術科学大学	B	テニス	男女	千葉大学 筑波大学	筑波大学 埼玉大学	横浜国立大学 埼玉大学	2年連続優勝
		水泳	男女	新潟大学 茨城大学	筑波大学 筑波大学	千葉大学 茨城大学	3年連続優勝 4年連続優勝	
		弓道	男女	筑波大学	信州大学	宇都宮大学		
	信州大学	C	準硬式野球		千葉大学	群馬大学	筑波大学	
		ラグビー	AB	筑波大学 新潟大学	横浜国立大学 千葉大学	信州大学 山梨大学	6年連続優勝 3年連続優勝	
		体操	男女	筑波大学 山梨大学	群馬大学 横浜国立大学	茨城大学 新潟大学	16年連続優勝	
		柔道		埼玉大学	筑波大学	茨城大学		
		バレーボール	男女	筑波大学 新潟大学	山梨大学 筑波大学	新潟大学 茨城大学	23年連続優勝	
		バドミントン	男女	筑波大学	千葉大学	埼玉大学		
		空手	防具組手 自由組手	山梨大学 信州大学	埼玉大学 新潟大学	山梨大学	11年連続優勝	

ドクター寺田の

## 学内遊学



編集長 寺田 員人

2001年10月16日・17日  
佐渡の取材を終えて。



佐渡演習林

# フィールド全てが、教材

フィールドそのものが実験、実習の施設であり、  
自然とつきあう場であると感じた。

夏の賑わいが過ぎた静かな秋の午後に佐渡航路のカーフェリーの中で、佐渡にある大学附属施設を取材した反省会を行っていた。

日頃、大学の構内にある研究室、教室、実習室で授業を行っている私にとっては、佐渡にある附属施設で見聞きしたことは、新鮮であり感銘を受けた。

臨海実験所では、研究所で施設の概要をお聞きした後に、小さな入り江を介して直接日本海の外洋に面している達者湾を実習船IBIS 2000に乗りながらお話を聞いた。沖で採取さ

れた海洋生物を特性のコンテナで運ぶことで遠く離れた実験施設でも実験や実習が行える。しかしその生物が生息している環境を肌で感じて実験を行うことで充実感を抱き、着想を広げることできるだろう。沖で採取した生物の中には偶然に捕獲されたものもあるだろう。捕獲された生物の名前を探す楽しみ、それが珍しいものであれば命名する喜びも加わる。施設での説明以上に、実習船上での野崎眞澄所長の眼が輝いていたのが印象に残った。

農学部佐渡ステーションでは、ステーション



達者湾。附属臨海実験所の実習船IBIS2000

サステイナブルであるためには、  
経済的な関心もさることながら、  
場所に基盤を置いた人間にならなくてはならない。  
ゲリー・スナイダー  
現代アメリカの代表的詩人、一九三〇年生まれ。  
「場所の感覚」・「バイオリジヨナブル（生態地域主義）」をテーマに、「場所  
の文学」で人間とノンヒューマンの新たな関係性を結ぶ「ミニニティ」の夢を  
語る。



佐渡ステーションにて、採取した昆虫を見せてくれる。



演習林を車で登っていく。取材班のひとりとはサファリラリーのようだと大袈裟に叫んだ。



技官の矢部茂明さんご協力に感謝。

のある小田から大倉川沿いに山道を通り、山毛樺ガ平山（ぶなガひらやま）の南の大倉越を通り北松ヶ崎に至る道を車で案内して頂いた。

4月の下旬、山道の補修から1年が始まる。学生の実習の始まりが鉈の刃を研ぐことであると聞いた。どちらも演習林実習ならではと思った。佐渡ステーションの近くにはコンビニはない。また、演習林に入れば携帯電話も届かないことだろう。そんな不自由な環境に学生がついていけるか疑問に思った。しかし、実習を終えた記念撮影で写った満足感がこの解答であった。演習林には、天然スギ、シャクナゲ、カタクリ、雪割草の群落などの植物系、鮎の生息する川、昆虫、放牧された牛（地元の牧畜）などの動物系、そして海拔0mから900mに至る地形、木々の生い茂る地形、風の強い急斜面、砂防ダムな

ど各種の地形・地質系、椎茸の栽培など演習林全てが教材である。同時に、山道は人が通らなければ藪になり消えてしまい、春に行う補修は除雪、石の



佐渡からの帰路、カーフェリー内で編集会議

除去などであり、すばらしい演習林を守ることの苦勞も伝わってきた。

このような理学部臨海研究所、農学部佐渡ステーションは、それぞれの学部に限った施設ではなく、他学部、他大学の学生も利用している。今回、東大

の学生が演習林で日中採取した昆虫を夜、仕分けしていた。この施設の良さが他大学にも広まっていることを認識できた。

達者湾や演習林は佐渡の人たちに支えられている。同時に、施設では公開講座などを行って佐渡の人たちが住んでいるところの良さを教えている。住民と施設の交流も盛んに行い、共存している様子も知ることができた。フィールドそのものが、実験、実習の施設であり、自然とつきあう場であると感じた。自然や環境を扱うには欠かせない施設であり、生涯研修の場になるものと思った。

前日より一転した雨の中、山道を運転していただいた矢部茂明さんに感謝すると共に、雨が再度の訪問を誘惑するものであった。



佐渡演習林

# 貧血の話

保健管理センター 助教授  
青木定夫

昔から「血の気の多い」とは、気が短くて怒りっぽい性格という意味で使われています。逆に血の気の少ない状態を貧血と言うわけですが、血の気の多いひとが貧血になったらおとなしい性格に変わるかどうかまでは定かではありません。

**貧血とは、医学的に言えば血液単位容積あたりの血色素（ヘモグロビン）量の減少と定義されます。**WHOの基準では、血液中のヘモグロビンの量が小児、妊婦では11g/dl未満、思春期・成人女性では12g/dl未満、成人男性13g/dl未満を貧血とするとされています。貧血は英語ではanemia（アネミア）といいます。anは否定の接頭辞、emiaは血という意味ですから、anemiaは血がないという意味になります。ちなみに医療の現場ではなおドイツ語が幅をきかしているのです。（古い？）医師や看護婦さんは「アネミーがありません」などと言います。

学校の朝礼などで校長先生の長話を聞いて倒れた経験をお持ちの方も多いと思いますが、これを俗に「貧血をおこした」などと言います。この場合の貧血は血の濃さとは直接関係がありません。血圧の低下や長時間立っていたりすることによる神経反射によって、頭に循環する血液の量が相対的に不足して、ふらついて立ってられない状態になるのです。いわゆる立ちくらみも血圧が急に変動することによって起こります。これらはあえて貧血という言葉をつかえばいわゆる「脳貧血」というべき状態で、血が薄いことを意味しません。

**貧血の検査は、血液を2ml程度採血すれば、いまではこの病院、検査センターでも簡単におこなえます。**検査項目としては、ヘモグロビン量のほかに、赤血球数、ヘマトクリットの測定を通常おこないます。これらの数値を組み合わせることで、赤血球の容積や赤血球1個あたりに含まれるヘモグロビンの量なども計算で求めることができます。こうして計算で求めた数値は貧血の原因の診断に役立ちます。

貧血の原因はたくさんありますが、今回は誌面の都合で、もっとも頻度の高い**鉄欠乏性貧血**についてお話しします。成人の体内の鉄の総量は3～4g位でそのうち70%がヘモグロビンに含まれる鉄、25%が肝臓や脾臓に蓄えられている貯蔵鉄、残りが筋肉や酵素などに含まれる組織鉄です。普

通の食生活をおくっていれば、鉄は食物中から、1日に11mg吸収され、便・汗などから1mg喪失されますので、この状態で±0です。

**ところが女性では月経で一日量相当1mgの喪失があり、妊娠すると同様に1mgの喪失があるとされています。**したがって女性ではどうしても**鉄欠乏性貧血**にかたよりやすいのです。また激しい運動で汗を大量にかくと汗から鉄が失われていきます。成人では消化器の病気がある場合、婦人科的病気がある場合などに、鉄欠乏性貧血になります。したがって、貧血を指摘されたらきちんと原因を調べる必要があります。

鉄欠乏性貧血の症状ですが、慢性に進行する事が多いので、重症にならないと症状のないことがあります。**頭痛、すぐに疲れる、坂道や早歩きで動悸がする**などの症状が高頻度です。むくみや黄疸と間違ふような黄色い皮膚が目立つことがあります。ひどくなると喉の違和感、口内炎、口角炎、舌の痛み、嚥下困難などが起こります。立ちくらみ、めまいなどは貧血の直接の症状ではありません。教科書的には、爪が変形して中央がくぼむspoon nailやくぎや鉄を食べる異食症という精神症状が記載されていますが、実際には私は後者の経験はありません。

鉄欠乏性貧血の治療には、日常の食生活で**鉄を含む食品を多くとる**という予防が有効ですが、特に女性では上に述べたように鉄の吸収はどうしても負のバランスになりやすく**食事だけで必要な鉄を摂るのは困難**なことがあります。ひとたび**鉄欠乏性貧血**になれば**食事療法では改善は難しく造血剤（鉄剤）の服用が必要**になります。誌面がつきましたので予防や治療については別の機会に改めて述べます。

保健管理センター【五十嵐地区】

Tel.025-262-6243 Fax.025-262-7517

旭町分室【旭町地区】

Tel.025-227-2040 Fax.025-227-0748

利用時間 / 8:30～17:00(土・日曜、休日は除く)

# こちら就職部

## 就職相談と個別面接指導のお知らせ!!

いよいよ、現在3年生のみなさんにとって就職活動がスタートします。しかしそのスタートラインに立つには多くの準備が必要です。業界研究を行い、自分の適性にあった業界・職種を選択する。大手企業を目指すのか、中小企業を狙うのか、また新潟に就職するのか、地元に戻るのか、考えなければならないことはたくさんあります。そこで就職部では民間から就職指導の専門家を招聘し、みなさんの疑問や悩みに答える就職相談を実施します。

また、現在、就職活動を続けている4年生、またそれ以外の学生の参加も受け付けています。

相談時間は1人あたり30分、予約制（先着順）です。詳細は下記のとおりですので、希望者は就職相談事務室へ申し込んでください。

- ・相談員 社会保険労務士 新潟県人事労務研究会代表 水谷 英治氏(平成11年2月より本学相談員)
- ・対象 全学部生・大学院生
- ・相談日 11月15日(木)、20日(火)、21日(水)、27日(火)、28日(水)、29日(木)、12月4日(火)、10日(月)、11日(火)、13日(木)
- ・相談時間 午後2時～午後5時(1人30分)
- ・相談場所 教養校舎1階就職相談室
- ・予約方法 就職相談事務室にて申込を受け付けています。電話申込可 TEL:025-262-6087

## 進路が決定した4年生のみなさんへお願い

平成14年3月卒業予定の皆さんは、卒業後の進路が決定次第、内定届を所属する各学務係へ提出してください。企業、公務員、教員等に採用が内定したとき、また大学院、専門学校への進学が決定したときや、その他の道に進む場合でも提出は必要です。



みなさんから提出された内定届は、文部科学省や厚生労働省を始めとする各種調査に対する基礎データになるばかりでなく、後輩の就職指導の参考等になるため、本学としては正確に把握しなければなりません。みなさんの協力をお願いします。

## 女子学生と就職を考えるシンポジウム開催!!

就職部では、10月10日(水)就職活動を控えた女子学生を対象に「女子学生と就職を考えるシンポジウム」を開催しました。

仕事と家庭と育児を両立し、第一線で活躍しているBSNアナウンサーの伊藤麻子さんによる基調講演では、自身の経験をもとに、これから就職活動を開始する女子学生へのアドバイスをいただきました。

### 女子学生と就職を考えるシンポジウム



また、パネリストとして参加の新潟伊勢丹人事課長、新潟大学OG、今年の就職活動で内定を得た現4年生、新潟労働局雇用均等室長によるアドバイス、働く女性のための法律についての説明があり、参加した学生からは、「大変参考になった。」「これからの就職活動に向けてやる気ができた。」など好評を得ることができました。

## 3年次生対象就職行事予定表

月	日	曜	就職行事	場所	内容
11	第1回 11月21日	水 火	女子学生のためのヘア&メイク講座・面接に役立つ立ち振る舞い方 16:00～18:00	教養校舎 F270講義室	プロのヘアメイクアーティストを講師に招き、厳しい就職戦線に打ち勝つ立ち居振る舞いやメイクを伝授願う。各40人(要予約) 11月1日から募集開始
	第2回 12月18日				
12	第1回目 12月19日	水 木	各省庁別公務員ガイダンス 14:40～17:00	教養校舎	人事院関東事務局、東京税関、防衛庁、新潟県人事委員会、新潟市役所、新潟県警本部、関東信越国税局、新潟労働局、他 各県庁
	第2回目 12月20日				
2	20日	水	県内企業学内合同企業説明会	教養校舎	新潟県内の企業50社程度を本学に招き、合同企業説明会を行います。県内に就職を希望する学生は必ず参加してください。

## 就職部就職相談事務室

TEL.025-262-6087 FAX.025-262-7516

E-mail: shushoku@adm.niigata-u.ac.jp

利用時間 9:00～17:00(土日、休日は除く)

# 新大広報 BackNumber

- 138号 特集：国際交流
- 139号 特集：卒業
- 140号 特集：新潟大学学長インタビュー
- 141号 特集：総合大学としての新潟大学の魅力

バックナンバーが欲しい方は、事務局の学生部学生課まで受け取りに来て下さい。

# 募集!

## 新大広報の制作に 参加してみよう

新大広報の編集会議に参加して下さる方を募集しています。今号の編集会議には、企画段階からの参加は残念ながら果たせませんでしたが、ざっくばらんな情報交換会（いわゆる飲み会）への参加、取材が進む中での編集会議へ学生さんからも参加してもらえました。



「編集会議で、「研究者」と「職人」としての、先生方にお会いすることができました。この職人魂も、新大の魅力に挙げられるのではないのでしょうか？」  
教育人間科学部 宮崎道名

部・サークル活動の紹介、発表会の案内、授業で作成した作品の紹介など掲載を希望する記事を併せて募集しています。

問い合わせ先：学生課（025-262-7330）、または各学部の広報委員まで。

連載しておりました「世界の都市」は今回お休みしました。



## キャンパス植物歳時記 新大の大きな樹②

紅葉したツタがからんだ改良ポプラ  
（別名カロリナポプラ）

第1食堂前の広場には数本の大きなポプラがそびえ立っている。その学名ポプルス（Populus）「ふるえる」という意味で、葉柄が扁平なためにわずかな風でも葉がそよぐところから命名された。改良ポプラは、よく知られている幕状の樹形をしたヨーロッパクロポプラとともに、ヨーロッパで品種改良され移入されたものである。どちらも世界中の公園や道沿いに植えられている。紙谷智彦（農学部）

## 編集後記

新潟大学の多面的な顔を探る、これが142号の目的です。五十嵐キャンパスから飛び出して、一層元気で面白い大学の魅力を紹介できたと思っています。その一つは、六花寮生たちの過去と現在の顔、もう一つは、佐渡を拠点に地球環境の未来を探るエコ・ステーションというべき附属センターの顔。一見つながりのなさそうな二大特集ですが、そこには、人を愛し自然との共生を目指して、よりよい社会を作ろうとする人たちの思いがあふれていました。編集委員たちは、六花寮の座談会でも、佐渡臨海実験所・佐渡演習林でも、意欲的に生きるその姿勢に圧倒され続けました。私たちは、もっと視野を広げて、新潟大学の新たな個性と可能性とを知るべきではないでしょうか。この特集号が、そのために少しでも役立てば嬉しいと思います。なお、この度は、多くの方々からの全面的な支援をいただき、本特集が実現いたしました。深く御礼を申し上げます。（石坂妙子）

広報に散在する粹な見出しがどんな着想から生まれるのかという点にある種の驚きを感じていました。取材にしろ編集にしろほんとに真剣に取り組んでおられるのを内から知る機会がありよい経験をさせて頂きました。2回の取材にも、編集会議にもまともに出席できず申し訳なく思っています。（石田昭男）

自称「不肖・カメラマン」として取材に同行いたしました。ファインダー越しに垣間見るピオトープの表情は一瞬として同じではなく、ときにセクシーですらありました。森が呼吸していることも肌で知りました。そんな感動を多少ともお伝えできていれば幸いです。（川瀬知之）

### 広報委員会第1部会

部会長	仙石 正和（学長特別補佐）	Tel 262-6751	sengoku@ie.
編集委員長	寺田 員人（歯学部）	Tel 227-2975	tera@dent.
委員	井山 弘幸（人文学部）	Tel 262-6573	
	石坂 妙子（教育人間科学部）	Tel 262-7116	ishizaka@ed.
	谷 喬夫（法学部）	Tel 262-6493	
	濱田 弘潤（経済学部）	Tel 262-6538	khamada@econ.
	石田 昭男（理学部）	Tel 262-6145	ishida@sc.
	山内 春夫（医学部）	Tel 227-2141	daba@med.
	川瀬 知之（歯学部）	Tel 227-2845	kawase@dent.
	谷口 正之（工学部）	Tel 262-6716	mtanig@eng.
	青柳 育（農学部）	Tel 262-6626	qingliu@agr.
	藤野 邦夫（医療技術短期大学部）	Tel 227-2362	fujino@clg.
事務局（学生部）	Tel 262-7330 Fax 262-7515 gakusei@adm. (E-mailのアドレスは、niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。)		

この広報は再生紙を使用しています。